

## 6. 事業計画の変更に伴う予測・評価の見直し

今回の事業計画の変更は工事工程の変更（事業予定期間の変更）のみで、道路の構造及び工法についての変更はなく、表6-1に示す理由により工事の施行中の予測条件が変わるおそれのある項目はないことから予測・評価の見直しは行わない。

また、工事完了後についても、事業予定期間が変更されることによる、道路施設の存在、供用に係る項目、計画交通量に変更がないことから予測評価の見直しは行わない。

なお、平成28年度末には多喜窪通りから国分寺3・4・6号線までの区間を交通開放した。

表6-1 予測・評価の見直し項目及びその理由

項目	区分	予測事項	理由
騒音・振動	工事の施行中	・建設機械の稼働に伴う建設作業の騒音及び振動レベル	工事期間が延伸となるが、建設機械の稼働に係る騒音・振動の予測・評価は工種ごとに行っており、建設機械の種類など予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。
地盤	工事の施行中	・アンダーパス部の掘削工事による地盤の変形の範囲及び変形の程度	工事期間が延伸となるが、アンダーパス部の地下構造物、施工計画など予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。
水循環	工事の施行中	・アンダーパス部の掘削工事による地下水の水位の変化の程度	工事期間が延伸となるが、アンダーパス部の地下構造物、施工計画など予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。
生物・生態系	工事の施行中	・工事の施行に伴う土地改変による生物・生態系の変化の内容及びその程度	工事期間が延伸となるが、土地改変の範囲など予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。
史跡・文化財	工事の施行中	・工事の施行に伴う埋蔵文化財包蔵地の改変の程度	工事期間が延伸となるが、土地改変の範囲など予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。
廃棄物	工事の施行中	・工事の施行に伴う廃棄物及び建設発生土の排出量	工事期間が延伸となるが、土地改変の範囲など予測条件に変更はないため、予測・評価の見直しは行わない。

## 7. 事後調査全体工程表の変更

事業計画の変更に伴う事後調査全体工程表については表7-1に示すとおり、工事工程と事後調査報告書の提出時期を変更する。



表 7-1 (2) 事後調査全体工程表【変更前】

項目	年度	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度 (2020年度)				平成33年度 (2021年度)				平成34～ 40年度 (2022～ 2028年度)				平成41年度 (2029年度)			
		4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1								
施工区分	平面部	[Timeline bars for 平面部]																																																							
	オーバースタック部	[Timeline bars for オーバースタック部]																																																							
	アンダーパス部	[Timeline bars for アンダーパス部]																																																							
事後調査項目	大気汚染	工事の施工中	[Timeline for 大気汚染 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 大気汚染 完了後]																																																						
	騒音・振動	工事の施工中	[Timeline for 騒音・振動 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 騒音・振動 完了後]																																																						
	地盤	工事の施工中	[Timeline for 地盤 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 地盤 完了後]																																																						
	水循環	工事の施工中	[Timeline for 水循環 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 水循環 完了後]																																																						
	陸上植物	工事の施工中	[Timeline for 陸上植物 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 陸上植物 完了後]																																																						
	陸上動物	工事の施工中	[Timeline for 陸上動物 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 陸上動物 完了後]																																																						
	水生生物	工事の施工中	[Timeline for 水生生物 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 水生生物 完了後]																																																						
	日影	工事の施工中	[Timeline for 日影 施工中]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 日影 完了後]																																																						
	電波障害	工事の完了後	[Timeline for 電波障害 完了後]																																																						
		工事の完了後	[Timeline for 電波障害 完了後]																																																						
景観	工事の施工中	[Timeline for 景観 施工中]																																																							
	工事の完了後	[Timeline for 景観 完了後]																																																							
史跡・文化財	工事の施工中	[Timeline for 史跡・文化財 施工中]																																																							
	工事の完了後	[Timeline for 史跡・文化財 完了後]																																																							
廃棄物	工事の施工中	[Timeline for 廃棄物 施工中]																																																							
	工事の完了後	[Timeline for 廃棄物 完了後]																																																							
その他	工事の施工中	[Timeline for その他 施工中]																																																							
報告書提出時期		[Timeline for 報告書提出時期]																																																							

注) 1. [Solid arrow] は、継続調査、または、期間内の代表的な日時を選び実施する調査である。  
 注) 2. [Dotted arrow] は、期間内の適時を定めて実施する調査である。  
 注) 3. 報告書の提出時期は表中のとおりであるが、予測結果と大きく相違した状況が確認された場合や常時・定期監視している項目について異常があった場合は適宜報告する。  
 注) 4. 地盤及び水循環については、アンダーパス部の掘削工事及び地下躯体工事が平成27年度までに完了しているため、事後調査期間の見直しは行わない。  
 注) 5. 日影及び電波障害については、オーバースタック部の橋梁架設工事が平成27年度までに完了しているため、事後調査期間の見直しは行わない。